

伊陸夢プランだより

第22号
令和5年5月25日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

夢プラン支援協議会総会を開催しました。《5月12日(金)》

平成30年4月に、「夢プラン」の行動計画を具現化するために必要な方法や具体策などを協議し、プラン推進を支援することを目的として、夢プラン支援協議会が設立されました。

地域課題の取り組みにあたり、関係団体との協議や支援を行って参りましたが、令和2年度から令和4年度の3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議の開催すら難しく「夢プラン」の具現化も思うように進みませんでした。

その中においても、令和2年度は、取り組む柱として「デマンド交通導入」と「防災意識の向上」を掲げ、実現に向け皆さんと協力しながら取り組んで参りました。

「デマンド交通の導入」は、昨年10月に「いかちまいか号」の運行がスタートし、順調に進んでおります。

今後の様々な課題については、伊陸地区社会福祉協議会を中心に協議していく事となります。引き続き、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

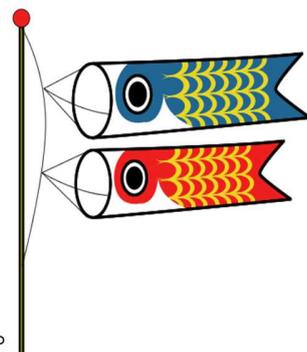
「防災意識の向上」は、コロナ禍により紙面での情報発信を行ってききましたが、今年度になり、ようやく自治会での「防災研修」を行う事ができました。が、まだまだ様々な場面で情報発信を行う必要性を感じています。

また令和4年度は、「やまぐち元気生活圏活力創出事業」を利用して「交流・情報発信」の取り組みとして、「伊陸を知ってもらおう」ためのPR動画を作成いたしました。

今後YouTube配信等を行い、多くの方に見ていただきたいと思います。

今後の取り組みと致しまして、

- ①「防災・安全」の項目では、引き続き自主防災組織の拡充に取り組む。
- ②「交流・情報発信」の項目では、伊陸地区コミュニティ協議会の公式LINEの加入者の拡大に取り組む。
公式LINEを情報発信だけでなく、災害時の情報収集として活用することで、安心・安全な地域を目指す。
- ③「史跡・神社・伝統行事」の項目では、関係者との協議を進める。
- ④「子供・住宅」の項目では、交流・情報発信などに取り組み、



交流人口の増加や定住につながるよう、対策を考える。
以上、4つの柱を掲げました。

どの柱も短期間で解決できるものではなく、地域の皆さまと共に、じっくりと丁寧に
取り組んで参りたいと考えております。

今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

伊陸地区コミュニティ協議会とLINE でつながろう！

スマートフォンをお持ちの方、公式LINEに登録しませんか？

公式LINEは便利です。

- ・ホームページの更新・いちいちだよりの更新のお知らせ。
- ・行事日程や変更などのお知らせ。
- ・害獣情報や災害情報などのお知らせ。
- ・その他。

(不燃ごみ収集日のお知らせ、行方不明者の搜索依頼など。)

ホームページを更新しました😊

〇月〇日、〇〇地区で熊が目撃されました。
皆さん、お気を付けてください！

明日は、缶・金属類の収集日です😊
刃物などは、「キケン」の表示をしてください。

送られてくる情報を受け取るだけ。面倒な返信は一切なし！

★LINE登録の方法① (事前にLINEアプリをインストールしておく)

- 1, LINEのホームを開く
- 2, 「友達追加」を押す(人の形や記号の場合もある)
- 3, 「検索」を押す(虫眼鏡のような形)
- 4, 「@474dxuce」を入力する
- 5, 「確定」を押す
- 6, 「検索」を押す
- 7, 「追加」を押す(メッセージが届く)⇒登録完了
(届いたメッセージに従ってください。)



★LINE登録の方法② (事前にLINEアプリとQRコードアプリをインストールしておく)

- 1, QRコードアプリを開く
- 2, 左のQRコードを読み取る
- 3, 「読み取り内容」に記載の情報(URL)を押す
- 4, 「追加」を押す(メッセージが届く)⇒登録完了
(届いたメッセージに従ってください。)